

b b c カンパニー流オリジナルお掃除レシピ

フローリングワックスを長持ちさせる

秘訣！

日常お手入れ

b b c カンパニー 代表

信岡政憲

ワックスはどれくらいもつの？

という質問をよく頂きます。

例えば

フローリングにワックスを3枚塗り重ねたとします。1年が経過しツヤがなくなってきました。この時点でワックスが3枚全部磨耗したかという、そうではありません。

ワックスの長持ち度は厚みとツヤの2つの観点から見る事が出来ます。

ですから、ワックスを塗り重ねておけば、厚みで見ると2年、3年お手入れしなくてもワックスは残っていると思います。

しかし、ツヤという観点から見るとワックスの質にもよりますが、半年、1年経つとくもったような感じになってきます。

これはあくまでも、ワックスの表層部分で起きていることですので、再度ワックス掛けをしてやるとある程度もとのツヤに戻す事が出来るわけです。

見た目では厚みで判断するのは難しいので、ツヤで判断しがちですが実際は双方の組み合わせで成り立っているわけです。

いずれにしても、やはりお手入れを怠るといくら厚みがあっても、汚れは内部に浸透していきますので、表層にワックスを塗り重ねても黒光り(汚れの上に塗り重ねるので)になってしまいます。

そうならないように出来るだけ日常のお手入れで汚れを表層で除去していくことで、ワックスを重ね塗りした際のツヤの戻り、美観を維持できるのです。

ですから、理想的なのは新築のうちにしっかり下地となるワックスの層(厚み)を作っておくことが必要になってきます。(当社サイト新築向けワックス施工をご参照ください)

家族の人数・日々のお手入れによりこのあたりの差は大きく違ってきますが、厚みとツヤの2つの視点でワックスの長持ち度はイメージして頂くと分かりやすいと思います。ツヤが無いからワックスが全部なくなったということにはならないのです。

ご参考になりましたでしょうか？

これより日常のお手入れ法をご紹介します。

パターン1 除塵を行う（毎日～週2，3回）
市販のフローリング用クイックルワイパー、ダスキン・サニクリーンモップなど

 <ポイント>

床の光沢が落ちる原因として、（歩行 + 砂ホコリ）この2つが一番の小傷の原因（＝ツヤ低下）となります。ですから、歩行頻度の高い場所はこまめに除塵そうじをしてください。

 <ポイント>

予防策として、入口付近にマットを敷いて、外からの砂ホコリの侵入を防ぐことも大事です。

パターン2 水拭き（固く絞ったもの）を行う。（週1回～10日に1回）
そんなに頻繁に行う必要はありませんが、週1回程度行えると理想的です。

 <ポイント>

しっかり除塵を行った上で、水拭きをしてください。砂ホコリが残ったまま水拭きを行うとやはり、小傷の原因となりますし、汚れを塗り広げてしまうことにもなります。

パターン3 定期的に洗剤拭き（2週1回～月1回）

 <ポイント>

日常のお手入れでは必ず中性洗剤を使用してください。アルカリ系の洗剤はワックス皮膜を分解してしまいますので注意してください。
洗剤拭きを行う場所は油分の多い箇所がメインで行い、油汚れ等がない箇所は、水拭きで十分対応できます。

以上3点パックを基本に、普段皆さんがされているお掃除で十分です。特別なことをするようなことはありません。

『ポイント！』と言う形でコメントを入れました点を気をつけて下されば、より一層レベルの高い状態が保てると思います。

図解によるワックスと汚れの関係を当社サイト内で分かりやすく掲載していますので、
そちらもご参考頂ければより一層イメージが出来ると思います。

このレポートを最後までお読み頂き感謝です。

ご健闘お祈りしております。